

10月15日（第6号）一般質問

○議長 知念富信君 これから本日の会議を開きます。本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

開議（午前10時00分）

日程第1．会議録署名議員の指名

○議長 知念富信君 日程第1．会議録署名議員の指名を行います。本日の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって11番 宮城清政議員、12番 赤嶺奈津江議員を指名します。

日程第2．一般質問

○議長 知念富信君 日程第2．一般質問を行います。それでは、通告書のとおり順次発言を許します。13番 大城 毅議員。

〔大城 毅議員 登壇〕

○13番 大城 毅君 皆さんおはようございます。改めて9月の選挙で議会議員に選出させていただきました、日本共産党の大城 毅でございます。今後4年間、一所懸命職責を果たしてまいります。どうぞよろしく願いいたします。町長を初め、執行部の皆さん、それから町民の皆さん、同僚議員の皆さん、いろいろとご迷惑をかけるかもしれませんが、どうぞよろしく願いいたします。今回、私の中でも一番多い質問項目数になっていると思いますが、今後4年間の中で議論を深めて、一つ一つ解決を図っていきたいということですので、今回、執行部、当局の今のところの見解を広く伺っておこうという趣旨での、今回のこの数です。どうぞよろしく願いいたします。

まず、前回6月定例議会でも、赤嶺町長の就任直後の定例会ということがありましたので、そこでも基本的な政治姿勢について確認をさせていただきましたが、今回は私の新たな任期の最初の議会でもありますし、改めてまず町長の政治姿勢を確認させていただきたいと思います。安倍総理大臣は、まだ正確な数値はわかりませんが、10月24日とも言われる今回の臨時国会に憲法改正案を提案するということが報じられております。決して、遠い将来の話ではなくて、早ければこの臨時国会で議論されるということになるかと思っておりますので、改めて町長には政権が準備している憲法改正、これについて町長はどのように対応されるおつもりか、お聞かせいただきたいと思います。それから前回からこの間に予想もされていなかった県知事選挙、当初11月の予定でしたけれども、さまざまな事情から前倒しで実施されまして、既に終わっております。先日、宮城寛諄議員も確認をいたしましたけれども、改めて伺いたいと思います。9月の県知事選挙において、どちらの候補を支持されたのか。前回議会、6月定例議会の答弁を踏まえて、その理由を明確にお聞かせいただきたいと思います。

次に大きな柱の子育て安心のまちづくりということで幾つか聞いております。こども医療費助成は、高校卒業までに広げる考えはないか。これも先日、寛諄議員も、ほかの議員もありましたか、あったと思いますが、改めて確認します。それから2番目に保育所待機児童の解消は、認可保育園の増設・改築で早期に行う必要があると思うが、どうするかということ。これもどなたかの質問にありました。それから3番目に、病児、病後児保育の拡充をすべきだと考えますけれども、どうでしょうかお伺いいたします。それから認可外保育園への支援を強めるべきだと考えますけれども、まず空調設備への補助、それから保育料を認可園と同等程度に助成すべきではないかと考えますけれども、これに関する考えを伺います、現状なり、考えなりお願いいたします。それから、これは送迎サービスや給食・支援員の待遇改善など、学童保育への支援の拡充を進める考えはありませんかということ。それからこれも学童に関することでもあるわけですが、待機学童解消へ、学童クラブの増設とそれから児童館の増設が必要ではないかと考えますけれども、いかがでしょうか伺います。7番目に、幼小中学校の給食費は、値上げが計画というか、教育委員会で決定される前の学校共同給食調理場運営委員会で決定されている、この決定は生きているということ、3月でしたか6月でしたか答弁がございました。これについて、私は値上げではなくて、無料化を目指してまずは引き下げを図るべきではないかということ伺っております。改めてお考えを伺います。それから学校の教室にクーラーを設

10月15日（第6号）一般質問

置するということで、町長の公約にも掲げられて、前回の議会でも答弁がございました。改めて伺いたします。それから子供の貧困が県内でも大きな課題となっていて、例えばこども食堂の取り組みなども実施されているわけですが、この取り組みを前進させる上で行政はどのようにかかわるのか改めて伺います。それから10番目に、図書館の充実を図るとともに、本格的な図書館の建設を目指す考えがないかどうか伺います。

それから3つ目の大きな柱として、健康をささえる福祉・医療のまちづくりを掲げておりますけれども、まず国民健康保険税・介護保険料、確かにさまざまな事情もあって、赤字の解消、いろいろありますけれども、実際生活をしていらっしゃる皆さんからすれば、家計の大きな負担になっているという実態があります。今のままでは赤字を埋めるために値上げをするということもちらちら聞こえるわけですが、むしろ大きな負担となっている現状からすれば、引き下げてほしいというのが住民の大きな要望です。そういったことから国民健康保険税、介護保険料の引き下げについてどのように考えるか伺いたします。それからこれはたびたび伺っておりますけれども、高齢者の皆さんの生きがいと収入を確保するという意味から、シルバー人材センターについて、町はこの間、ほかの事業で十分だという答弁であります。改めて、この任期の初めに当たって、当局の考えをお伺いしたいと思います。それから高齢者や住居困難者のために町営住宅をつくる考えはないかということも伺っております。今、生活保護を受ける、認定を受けたけれども、なかなか住む場所が探せないといった要望がたびたび聞かれます。そういったことに対応して、この方々に住む場所を提供するということは行政の大きな責任だと私は考えておりました。そういったことからこの質問をしております。

それから4番目、ちむぐくる館の健康ルーム、今たくさんの方に活用されて、中の機械、マシンの使い方もなかなか一定しないところがあるのか、いろんな事情があるんですけれども、故障が相次いでいます。これはこれで対応しないといけないわけですが、そういったものに特化した健康を増進する。介護を予防する含めて、そういったものに特化したセンターをつくる考えはないかどうか伺いたします。

これはまちづくりの関係ですが、1番目に、防災無線のスピーカーが町内のいろんなところに立てられていますけれども、防風などのときになかなか聞こえづらいというのが実態です。窓も開けられないし。そういったことにも対応するし、聞き取りにくい方々のために、希望する家庭には受信設備といいますか、受信機、そういったものを設置する考えがないかどうか伺いたします。住宅リフォーム助成制度、今、あとで確認しましたけれども、その要綱も廃止されているようですが、むしろ縮小ではなくて、住民のニーズはもっと拡大してほしいということだと考えているんですけれども、改めて考えを伺います。それから学校給食に関して、別の角度から町産農産物の活用を進めるということについて、どういうふうに考えていらっしゃるか伺います。それから琉球かすり、南風原花織などの展示場を建設する考えがないかどうか伺いたします。5番目に、歩道の確保や整備などで通学路の安全を確保すべきところが幾つもあると思っております。例としては、町道11号線、がじゅまる保育園の前の通りですね、あれをずっと兼城のほうに行って、県道を突っ切って、兼城の昔の6班というところですか、そこへおりていくこの通りですが、ここの赤嶺産業マンションという、町内ではかなり早い段階にできた高層の建物だと思いますが、その横のあたりが、車が多い時間帯、ちょうど子供たちが通学する時間帯ですが、子供たちが通るのに難渋していると、危険な状況があります。こういったところですか、あるいは宮平のコマツ建機販売の向かいのローソン、その横、釣り具屋との間、あそこも同じような状況で子供たちが通行するのに大変難渋しているということがあります。こういったあたりなど、どういうふうにしようとしているのか伺います。それから危険なブロック壁が指摘されています。南風原町の現状はどうなっていて、対策はどうなっているのかご報告いただきたいと思っております。それから今申し上げた点は当然役場が管理する部分ですが、それではない民間のものでも同様に危険なものがあります。そういったことについて、例えば住宅リフォーム助成で行ったようなものを応用して対策することができるんじゃないかと考えますけれども、いかがでしょうか。それから7番目に、小中学校など公共施設に太陽光発電を設置する考えはないかどうか伺いたします。それから8番目に、南部水道企業団、これは一部事務組合というか、別の公営企業で行われているんですけれども、これはさまざまな問題も発生させています。本当に効率がどうなのか、町民の利益の観点からしてどうなのかという点は母体である自治体がしっかり把握すべきだろうという考えから、私は県内ではこの1つの団体しかないわけで、ほかは全部直営でやっているわけですから、南風原がそうするメリットがないのかどうか、きちんと確認する必要があるという意味から、それを進める考えがないかどうか

10月15日（第6号）一般質問

お伺いいたします。

それから平和発信、文化のまちということで、伝統芸能文化振興のために振興基金を造成する考えはないかどうかお伺いいたします。それから戦争体験の継承、陸軍病院壕群の整備、20号壕の活用促進、ガイド支援をどう強化するかということについてお伺いいたします。たくさんお伺いしましたけれども、一つ一つご答弁をよろしくお伺いいたします。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 大城 毅議員のご質問にお答えいたします。質問事項1点目は私の政治姿勢に関するご質問でございますので、私から答弁をいたしまして、以降につきましては、副町長あるいは教育長から答弁をさせていただきたいと思っております。

質問事項1番の町長の政治姿勢を問う関係のご質問ですけれども、(1)現憲法は、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を国の指針とし、戦後の我が国の発展と国際貢献に重要な役割を果たしてきました。現行憲法を評価しておりますので、改正する必要はないと考えております。(2)県知事選挙に関するご質問ですけれども、佐喜眞候補の行政手腕に期待をいたしまして、同候補を支持いたしました。以上でございます。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項2点目、安心して子育てできるまちづくりを進めるためにの(1)についてお答えします。こども医療費の窓口支払い無料化を高校生まで拡充する件については、現在、実施計画への計上に向けて取り組みを進めているところであります。(2)についてお答えします。待機児童の解消に向けては、町子ども・子育て支援事業計画に沿って事業を進め、平成32年度までに待機児童ゼロを目指して取り組んでまいります。(3)についてお答えします。利用状況等を検討した結果、増設については現時点では考えておりません。(4)についてお答えします。まず、①についてであります。認可外保育園の空調整備に関しては、県の認可外待機児童対策特別事業を活用し整備を進めており、本年度はなでしこ保育園の同事業活用による整備によって町内の認可外保育園は全て空調設備が整っております。②については、待機児童として認可外保育園に通うこととなったひとり親世帯については、県補助金を活用し、上限2万6,000円の保育料を補助しております。(5)についてお答えします。学童クラブへの支援につきましては、国や県の補助を受けて、運営補助金のほかに学童クラブ支援員等処遇改善事業、送迎支援事業、運営支援事業(家賃補助)、環境改善事業、障害児受入強化推進事業などを取り入れておりますので、今後も現行の支援体制を維持してまいります。(6)についてお答えします。平成30年度の待機児童については、町内で11名となっていることから、学童クラブの増設については今年度実施するアンケート調査にて量の見込みを調べた後、検討したいと考えております。また、児童館につきましては小学校区に1カ所ずつ、計4カ所設置しておりますので、今後も現行の体制で取り組んでまいります。(9)についてお答えします。こども食堂につきましては、町社協の子ども等貧困対策支援事業で運営費への助成を行っておりますので、同事業の助成を受けて事業の実施を希望する団体があれば支援をしてまいります。

質問事項3点目の健康をささえる福祉・医療のまちづくりのために、(1)についてお答えします。国民健康保険及び介護保険制度は、加入者が納付する保険税(料)と公費によって医療費や介護費用を賄う助け合いの制度です。医療費や介護費用は年々増加している状況であることから、保険税(料)の引き上げは考えておりません。(2)についてお答えします。本町では、シルバー人材センターと同様な事業として産業振興課が実施しております人材サポートセンター事業やまちづくり振興課でシルバー人材を雇用して道路、公園等の清掃作業や町社協が実施しておりますファミリーサポートセンター事業、まちづくりサポートセンター事業を行っております。同事業で町民ニーズに対応していることから、調査の予定はありません。(3)についてお答えいたします。本町には、2カ所の県営団地があり入居者の申し込み資格要件で高齢者、生活困窮者世帯等は要件が緩く入りやすい状況となっており、町営住宅の計画はありません。(4)についてお答えします。町内には黄金森公園陸上競技場及び環境の杜ふれあいや民間のトレーニングジム、プール等健康増進に活用できる施設があることから、新たに健康増進センターをつくる考えはありません。

質問事項4点目の元気でくらしやすい環境のまちづくりのために、(1)についてお答えします。本町では、防災行政無線のほかに携帯電話向けのエリアメールの配信やマスコミと情報の即時連携を行っていることから、各戸への受信設備設置の計画はありません。

(2)についてお答えします。平成29年度までの住宅リフォーム支援事業の目的は、緊急経済対策の一環として、町内業者を利用して修繕、補修を行いました。県内経済状況の

10月15日（第6号）一般質問

好転により目的が達成されたと考えております。そこで平成30年度から補助要綱を改定し、補助対象工事を国・県と同様バリアフリー改修工事、省エネ対策工事、耐久性等を向上させる改修工事としております。そのようなことから助成の拡大については予定しておりません。（4）についてお答えします。琉球かすり、南風原花織の展示については、既に緋会館で行っておりますので、新たな展示場建設は予定しておりません。（5）についてお答えします。道路の拡幅については、町の交通計画を策定し必要性を検討したいと考えております。当面は、交通安全の観点から、白線、グリーンベルト等の路面標示や交通安全施設等で対応を検討してまいります。（8）についてお答えします。南部水道企業団の町移管については、平成20年4月に南城市（旧大里村）が脱退した際の事例から、行政区で水道管を分離して切り離す工事費の全額負担や不要な管が発生した場合の企業債の繰上償還の負担、または分離により新たに必要となる施設等の整備に要する費用、遠方監視制御装置の新設費用、各種システム導入費用等多種にわたる相当な費用の発生が予想されることから、慎重に検討する必要があると考えております。以上であります。

済みません、ちょっと答弁の1カ所訂正させていただきます。質問事項3点目の健康をささえる福祉・医療のまちづくりの（1）国民健康保険税・介護保険料の引き下げが求められているがどうか。答弁としまして、最後に保険料の「引き上げは考えておりません」と言いましたが、大変失礼いたしました。「引き下げは考えておりません」であります。訂正をいたします。以上であります。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項2番目の（7）給食費関係についてお答えいたします。学校給食に必要な食材費の負担は、学校給食法の規定どおり、児童生徒の保護者が負担すべきと考えております。現時点での引き下げは考えておりません。続きまして、（8）の学校へのクーラーの設置関係でございます。幼小中学校教室へのクーラー設置は、小学校は今年度の実設計画、平成31年度に設置工事、中学校は平成31年度に実施計画、平成32年度に設置工事の計画となっております。幼稚園につきましては、今年度から平成32年度までの3年間でクーラーを設置する計画でございます。続きまして、（10）図書館の充実を図る関連でございます。現在、図書館を地域の情報センターと位置づけ、関係機関との協力・連携を行い、特徴のある図書館を目指して努力しているところでございます。新たな図書館建設については考えておりません。

質問事項4番目、（3）の町農産物の活用でございます。町内農産物の学校給食への活用は現在も行っております。今後も可能な限り活用してまいります。（6）でございます。道路・公園等にブロック塀の設置箇所はございません。教育施設においては、北丘小学校プールと南星中学校運動場のブロック塀をNPO法人沖縄県建築設計サポートセンターの診断カルテを用いて診断を行ったところ、危険性は低い結果となっております。また助成制度については、生け垣等の整備に伴うブロック塀等の撤去費用に対する助成制度がございます。（7）でございます。教育施設への設置はなく、現時点での計画はございません。設置については、建物の構造、導入費用や維持管理費用、売電価格の動向など費用対効果を踏まえ検討してまいります。

続きまして、質問事項5番目、平和発信、文化の花ひらくまちづくりの（1）でございます。現在、伝統芸能文化振興のために伝統芸能保存育成補助金で対応をしております。今のところ基金造成の予定はございません。（2）です。20号壕と飯上げの道、文化センターの活用や連携・強化とともに、これまで蓄積した幅広い資料等の活用や整備、情報発信の方法などを検討し継承していく考えです。ガイドの支援につきましては、今年度から養成講座を隔年で実施していきます。以上です。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 どうもそれぞれ答弁ありがとうございました。全部について再質問をする予定はございませんので、幾つか再質問をしてまいりたいと思います。

町長、今憲法については、平和主義、国民主権など、戦後の発展に重要な役割を果たしてきて、改正する必要はないということを答弁いただきました。今、政権は、私が見るところですけれども、ほかのさまざまな課題がいっぱいある中でも、なぜ、国民から直接求める声が多くないこのようなことにエネルギーを費やしてしまうのか、もっとほかにやるべきことはいっぱいあるだろうということが大いに聞かれるわけです。こうした中で町長は、現行憲法は評価されるべきものであって、改正の必要はないということで今回答弁をいただきました。私も…、私もというか、公務員はそもそも憲法99条の中で憲法を尊重し擁護するという義務がうたわれていますよね。町長ももちろん、町役場の職員も長い間経験されています。よく存じませんが、公務員においては地方公務員も憲法を尊重するとい

10月15日（第6号）一般質問

う宣誓をすると聞いたことがあるわけですが、南風原町は採用された職員に当たって、それ等はどのようなふうになっているのか確認したいと思います。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 本町の職員採用についても宣誓を行っております。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 憲法99条を改めて言うまでもありませんけれども、天皇を初め、公務員、閣僚、そういったものについてはこの憲法を尊重し、擁護する義務を負うということとでうたわれているわけです。ですから、今国会議員であっても、これも公務員でありまから、当然憲法を擁護する義務があるはずなんです。けれども、今このような議論がなされているということについては、そういう議論をしたいのであれば、国会議員をやめてからやってくださいというのが私は憲法99条の趣旨じゃないかと思っているんですけれども、今、残念ながら国のトップの公務員である総理大臣がそういったことを言い出している。私、議論することは大事なこともかもしれませんけれども、そうであれば、国会議員をやめてから、民間人になってからやれという気もするわけですが、このことに関しては、今町長からそのような答弁がございましたので、これは大事にしたいと考えます。

それから2番目の知事選挙については、先日寛諄議員からもございましたけれども、やはり町民は町長選挙の際の公約といいますか、大きなパンフレットといいますか、そういったものをごらんになって建白書を堅持するんだと、先日もそういう答弁をなさいました。それはそれで立派な態度だと思うんですけれども、そのことと今回の選挙はもう結果が出ていますわけですが、国政与党の、官邸のと言っているのか、全面的なバックアップを受けた候補であったんですね、佐喜眞さんは。現実にはその建白書に反して辺野古に普天間基地を移すんだということで、新基地建設を、数々の違法を繰り返して、反対する住民を暴力的に排除して進めている。そういった方を、堅持だと言いながら、選挙において推すということは矛盾するんじゃないのかというのが多くの町民の皆さんの見方だろうと思っています。これは矛盾しないものなのかどうか、町長のご自身の気持ちの中で、心の中というか、そういったところだろうと思いますけれども、矛盾はしないというふうにおっしゃえますか。お願いします。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 答えいたします。私は、宮城寛諄議員のご質問にもお答えしましたとおり、佐喜眞候補もやはり25年1月の段階で、県内の全市町村長、あるいはまた議会議長の皆さん、関係4団体の代表の皆さんが建白書を携えて東京行動をなさった、そのように伺っておりますので、やはり基本的にはそういった部分は建白書の趣旨を堅持していると、それはそれで私もそうでございますし、佐喜眞候補もそうだったというふうに認識をいたしました。それも大事なことでありますけれども、やはり地域の行政を担うものとして、それだけではなくてほかにも目を向ける部分があるんじゃないかと、そのあたりでは私は佐喜眞候補に期待をいたしまして、支持をいたしました。我々、南風原町にも国保の赤字の問題とか、議員も新聞報道でご承知のとおり、子供の対策事業が、これまで10分の10だった補助事業が10分の9、あるいは10分の8とどんどん削減されていく可能性がある。そういったものに対しまして危機感を持っている市町村長がいらっしゃるわけでございますので、そういったものを一緒になってリーダーシップを発揮していただきまして、そういう課題に対応していただくと、そういった認識のもとで、もちろん応援演説の中でも話をいたしました。私も辺野古の問題というのは、沖縄県民として重要な課題であります。それと同じぐらいほかにも各市町村課題がありますので、そういうことを期待いたしておりますということで指示をしたということでございますので、ご理解のほどお願いしたい。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 町長は、そういう理由で佐喜眞さんを支持したと、それはそれで尊重されるべきではあります。住民の皆さんはどのように理解されるかということですので、その住民がどのようなふう理解されるかということについて、その判断材料を提供するというのがきょうの私の、この一般質問のやりとりの1つの目的でもございます。やはり現実には、菅さんなどが来て、県民に肅々とこれは進めるんだと言いながら、県民に寄り添うと言いながらそういうことをどんどんやってきた。その上で佐喜眞さんを応援して、結果として8万票の大差で、かつ勝利した玉城デニーさんは新聞報道によると、最近の県知事選挙史上では最高の得票を得られたということのようです。やはりそのようなことは、やっていることと言っていることはどうなんだということで選挙民は立派な判断をされたとは私は考えておりますけれども、その点では、町長、是非、本当に政治家として、今

10月15日（第6号）一般質問

はもう政治家ですから、その行動が自分の信念と矛盾しないのかということについては、私は改めて考えていただきたい。これは内容の問題ですので、そういうふうに申し上げます。

次に幾つも聞いているわけですが、まず学校給食の値下げは…、どういう答弁でしたか。値下げはしないという答弁ではなくて何だったか…。学校給食法の規定どおり保護者に負担をしてもらうという答弁でした。改めてですけれども、2017年10月17日、去年10月、約1年、学校給食共同調理場運営委員会で給食費改定について2つの議決がなされています。このことについて、それからその前に、その年度、平成29年度の当初予算でそれまで給食費への一般会計から補?をなくしました。この確認。そしてその10月17日の委員会の議決の内容を改めてご報告願います。

〔「休憩願います」の声あり〕

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午前10時40分）

再開（午前10時42分）

○議長 知念富信君 再開します。教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 先ほどの委員会の話ですけれども、まず、給食の値上げについての金額と時期のこと、この2点が審議されたと。それからまかない費の件ですが、平成29年度は補正で…、当初ではついていませんでした。補正で予算は計上しております。それから平成30年度については当初から予算を計上しているという形となっております。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 昨年10月17日の議決の内容をもう少し詳しく報告してください。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 まず議決の詳細ですね、幼稚園の月額を3,100円、小学校が4,500円、中学校5,000円と見直す案を議決しております。時期は平成29年4月…、30年の4月…、平成30年4月からということの時期となっております。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 同じことですが、幼稚園は月額現行「3,000円」のものを「3,100円」にすると。小学校が「3,800円」を「4,500円」、それから中学校「4,300円」を「5,000円」にすることでした。このことについて、直近の教育委員会に議案として上げたかと前回、前々回聞きましたら上げていませんと、報告事項にしましたということでした。なぜかと聞いたら、その時期は補正予算を要求していたということと、それから新年度の、平成30年度の当初予算で補?をすると、両方に、補正での補?と30年度の当初予算に補?を要求していて、その決定がまだなので、それで委員会には報告事項にとどめたということでしたね、確認します。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 はい、そのとおりです。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 そうであれば、その時期、補正予算を要求したり、当初予算はまだだと思ってしまうわけですが、その辺も詳しく聞かせてくださいね。当初予算もその時期に要求していたのか。そうであれば、10月17日の運営委員会になぜそれを提案したのかということになるんです。1週間しか変わらないわけでしょう。17日の運営委員会と24日でしたか、教育委員会が。そうすると、なぜじゃあその時期に、決定しても教育委員会に提案できないような議案を提案したのかとなるわけです。これはどうしてですか。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 教育委員会としては、給食費の諸問題について、いろいろ事前に研究を進めるということで研究を進めてきた。その研究の内容について、委員会の中で検討を深めるためにそういう提案となったということです。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 深めるための提案というのはおかしな話で、議決をしているわけではなくて、議論をして、じゃあまた次も議論しましょうというふうに深めていくということではなくて、提案してすぐその会議で議決しているわけです。この辺が非常に私は不思議だと思わざるを得ない。要するに補正予算も要求しているのに、値上げはその次の4月1日からと、提案をする、これは不自然じゃありませんか。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 新垣吉紀君 先ほど部長からあったように、金額について議決をいただいております。時期についてもそうですけれども、消費税の時期とかもろもろの、例えばそのこ

10月15日（第6号）一般質問

ろから幼児の保育の無料化とか給食の無料化の話も出始めております。消費税も以前に延長がありましたけれども、また昨今10月にあるというのがございますので、タイミングについてはもう少し研究、調査が必要だろうという考えで平成30年にも時期を決定しませんでした、値上げの時期をですね。教育委員会としてです。委員会…、給食運営委員会ではやっていただいたんですけれども、最後に執行する教育委員会としては、時期はもう少し研究しようということになったということでございます。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 報告事項にしたのであって、時期はもう少し延ばしましょうという議論をしたわけではないんでしょう。正確に言ってください、そこを。

〔「休憩願います」の声あり〕

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午前10時49分）

再開（午前10時49分）

○議長 知念富信君 再開します。教育長。

○教育長 新垣吉紀君 教育委員会事務局のほうで時期については研究するということが、教育委員会に出していないということです。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 この辺については、改めて、例えば、これは3月議会の、当時宮平部長ですけれども、教育部長の答弁ですが、なぜ教育委員会で議案にしなかったんだという議論の中で、その査定、編成時期で要求していることから、まだ決定がされていませんでしたので、一般財源から補?があるかないかまだわかりませんでしたので、議案とせず、報告ということで教育委員会には報告しましたということを書いてあります。要するに補正予算で要求していることと、それから今言った平成30年4月の当初予算にも補?はしていない結果になっているけれども、そのことも要求していたのかどうか。このあたりの時期的なことについて、今お答えできるのであれば予算要求をしたのがいつなのか、これを教えてください。両方について。

〔「休憩願います」の声あり〕

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午前10時50分）

再開（午前10時53分）

○議長 知念富信君 再開します。教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 明確な日付はこちらのほうでわかってはいないんですけれども、10月の途中から後半にかけて新年度予算の計上の編成作業が行われます。その中で予算計上をしようということで事務局内部では話し合いをしていたと。予算説明会のほうが11月2日には行われていますので、その中で作業の最中であったということでございます。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 まだ新年度予算の話、12月補正の件はどうですか。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 12月補正についても、大体作業としては同等の作業の中から、工程の中で行われているわけですがけれども、実際、要求としては新年度予算の要求と前後して要求されていくわけですがけれども、11月の予算説明会の時点ではそういう作業を行っていたということでございます。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 後ほど、きょうはここまでにしますけれども、正確な日付も含めて後で聞きますので、議場外で聞きますのでお願いしたいと思います。

クーラーについてですけれども、これも教育委員会です。きょうは皆さんに議長の許可を得てお届けしました資料では、右側の10月6日の新聞報道の中で、800億円の、一番上の左の端のほうですけれども、クーラーについては800億円を充て、来年末までに希望する全ての小中学校での整備を目指すと報道がされています。これは恐らく、これから国会で議論される中身かもしれないけれども、先ほど報告があった日程は、これは以前も報告された年次計画だと思います。このような報道の中で、それがもっと早められることは、私は可能なんじゃないのかなと、行政の中身は詳しくわかりませんので単純にそう思うわけですが、この日程をもっと前倒しをして、ここで言われている補正予算の活用、国の予算を活用してやることは可能なんじゃないのかなと思うわけです。それについてはどういうふうに、もし、当然この新聞は読まれているだろうという前提ですが、考え

ておられますか。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 先ほど答弁した、平成31年度、小学校、平成32年度、中学校というのは、予備の申請は行っております。この新聞報道については、予算規模を拡大するというのでございますので、今から手を挙げてくるところにも対応しようという考えではなかろうかという報道だと思っております。仮に予算がついて、全体的な、中学校の工事とかの仕事量、これも可能であれば、前倒しすることもいい方法であると考えますが、やはり全体の工事の一括発注とかそういったものもございまして、今のところは計画どおりということでございます。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 是非こういった、情報がこれだけでは私も、もっとあっても私はわからないかもしれませんが、まだ決まっていないことです。報道されているだけなのかもわかりませんし、恐らくこれは決まらなないと、国、県のほうから情報は流れてこないのかもしれないと思いますが、是非こういったことについて積極的にこれが活用できるように頑張りたいと思います。

きょうは非常に広いことについて皆さんにいろいろお聞きしました。今後、最初言いましたように、もっと議論を深めて、是非町民にとってよりいいまちになるように頑張っていきたいと思っております。終わります。

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午前11時00分）

再開（午前11時09分）

○議長 知念富信君 再開します。

それでは、通告書のとおり順次発言を許します。3番 岡崎 晋議員。

〔岡崎 晋議員 登壇〕

○3番 岡崎 晋君 第19期議員、岡崎 晋でございます。八重山の石垣で生まれ、高校を卒業して、その後、那覇市に出て、35年前に南風原町に移り住みました。よろしく願います。18日でしたか、初登庁以来、きょうで12回目の登庁だと思いますけれども、その間、私がこの庁舎内外で接してきた職員、あるいは目にしてきた職員に対する印象を申し上げます。皆さん限られた人数でよく頑張っているという印象を持っています。これからもいろいろご苦労はあるかと思っておりますけれども、明るく、元気にお仕事をしていただきたいと思います。それでは質問に入ります。

1. 町内自治会の自主防災組織の組織率と町側から自治会への働きかけ方について。

(1) 19ある自治会の自主防災組織率はどうか。(2) いつまでに全自治会に自主防衛組織を発足してもらいたいのか。(3) 自治会任せにするのではなく、もっと町側から働きかけを強めるべきではないか。

2. 新川公園トイレ前交差点の路面標示不明瞭及び通行優先変更を問います。(1) 町道258号線新川公園トイレ前交差点の「止まれ」の路面標示が殆ど消えており、公文書館側より新川43番地方面への車両が一時停止せずに走行して、非常に危険です。これまでの発生事故を把握しているか。(2) 公文書館から新川43番地を結ぶ道路が一時停止となっているが、これを兼城から坂を登ってくる町道47号線側を一時停止とした方がよいと考えます。坂を登ってくる車両は、あの交差点で視界が開けていないためにほとんどの車が一時停止するためであるが、どうか。

3. 北丘ハイツ集会所の上の地滑り危険斜面での老人施設建設計画の進捗状況と地滑り区域指定について問います。(1) 同斜面での老人施設建設計画の進捗状況はどうなっているか。(2) 沖縄県住宅供給公社から一個人に売却された同斜面一帯で、地滑り未指定区域の指定要請後の進捗状況はどうなっているか。

4. 各公立学校のクーラー設置時期は。(1) 町内公立学校の普通教室へのクーラー設置はいつまでをめどにしているか。(2) また、その順番はどうなっているか。以上、ご答弁をお願いします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目の町内自治会の自主防災組織の組織率と町側から自治会への働きかけ方についての(1)にお答えします。現在、東新川、北丘ハイツ、第二団地の3自治会が自主防災組織を結成しておりますので、組織率としては15.78%となっております。(2)についてお答えします。できるだけ早い時期に全自治会で自主防災

10月15日（第6号）一般質問

組織が結成されることを望んでおります。（3）についてお答えします。本町では、区長会の視察研修に対する補助を実施しており、その区長会県外視察研修において自主防災組織の視察を行っております。また、定例区長会の場においても自主防災組織結成について協議を重ねており、今後も各字自治会に合った支援方法を継続して実施し、全自治会で自主防災組織が結成されるよう連携をしてまいります。

質問事項2点目の新川公園トイレ前交差点の路面標示不明瞭及び通行優先変更を問う。（1）と（2）については関連しますので、一括してお答えします。ご指摘の当該交差点は、町としても危険箇所として認識をしております。与那原署に確認したところ、過去2年間で1件の事故（車対車）を確認しました。また10月11日に現場を確認したところ、横断歩道、標識及び路面標示は整備されております。

質問事項3点目、北丘ハイツ集会所上の地すべり危険斜面での老人施設建設計画の進捗状況と地すべり区域指定について問う。（1）にお答えします。計画地が一部地すべり防止区域内であるため、手続の流れとしては、まず最初に地すべり等防止法に基づく許可、そして都市計画法に基づく開発許可、建築基準法に基づく建築確認申請の許可を受けて工事着手となります。南部土木事務所に確認をしたところ、現在、同計画は地すべり等防止法に基づく協議を南部土木事務所と行っている段階で停滞をしているという報告を受けております。（2）についてお答えします。南部土木事務所に確認したところ、沖縄県住宅供給公社から個人に売却した土地を含む北丘ハイツ斜面地の地すべり防止区域の指定に向けた地盤調査などの業務を進めており、スケジュールとして今年度中に地域及び地権者への説明会を開催し、今年度末に指定を行う予定という報告を受けております。以上です。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項4番目の各公立学校のクーラー設置の時期でございます。まず（1）です。幼小中学校クーラー設置について。小学校は今年度実施計画設計、平成31年度に工事、中学校が平成31年度に設計、平成32年度に工事の計画でございます。幼稚園については、今年度から平成32年度までの3年間で全幼稚園へのクーラー設置をする計画となっております。（2）順番についてのお尋ねでございますが、小学校間、中学校間の差はなくしたいという考えで、小学校を同時に平成31年度、中学校も南星、南風原、同じ時期に平成32年度に設置をするということです。幼稚園も全幼稚園を同時期に工事をして、平成32年度までに完成するという予定でございます。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 答弁ありがとうございます。まず最初の自主防災組織ですけれども、平成27年2月の時点、今から3年半前、そのころには与那原町ではもっと早くから既に全自治会で防災組織が発足しておりました。私たち新川においても自治会とまちづくり委員会が一緒になって、地域助け合いと称して防災講座をこちらの総務と相談して出前講座をお願いし、区民36名が参加しました。災害で電話が通じなかったことなども想定してNTTの方にも、あるいは東部消防の方にも来ていただいて防災講座をやりました。36名の人にも集まってもらって、あのとき自主防災組織を発足する機運があったんです。けれども、残念ながらそのとき、こちらの庶務の担当の方をお願いしていたんですけれども、応援、お手伝いをしてちょうだいと。ところがマニュアルとかそういうものもただけなかったし、そのままにされたという思いがあります。あのときもっと応援とかお手伝いをいただければ、新川でも自主防災組織を発足できたんじゃないのかなと、今でも残念に思っています。そういう意味で町からは自治会、区長任せにするのではなく、もっとお手伝いあるいは東部消防の皆さんとも連携して、防災組織が発足するまでは役場、そして発足したら、その後の訓練などの運営は消防の範疇ということを、先日、照屋議員に教えていただいたんですけれども、でも19のうちまだ3つしか発足できていない。南風原で海拔の一番低いところはどこで、何メートルでしょうか。お伺いします。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 南風原町内で海拔が最も低い地域は長堂川付近で、海拔4メートルとなっております。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 私も見ました。一方、中城湾のほうからはどうなんだろうという心配もあります、津波のことですが、本町では津波の心配はないのか、大地震が起きたらどうなるのかという危機感が足りないように思います。329号をずっと北にのぼっていくと左側に丘が見えます、これがずっと中城まで続いています。あれは断層なんです。その断層がハートライフ病院の後ろに見える崖など、ところどころで途切れていますけれども、あの断層が工事をしている、与那原バイパスのすぐ横の、北丘ハイツのすぐ上の斜面、そ

10月15日（第6号）一般質問

して北丘小学校の上、中央育成園の上、そして先日土砂崩れがあった兼城相互団地の上とか、真和志高校の裏までこの断層が続いているんです。それはおわかりだと思いますけれども、いつ大災害が起きても不思議じゃないんです。スーパー台風とか大地震とかが起きて、道路が寸断されたら、インフラが途絶えてしまったら、私たちは隣同士、自治会の中でお互いに助け合っていないといけない。そういう意味で自主防災組織をできるだけ早く全自治会に立ち上げてもらうべきではないかと思っておりますけれども、働きかけをもっと強めるべきじゃないかと思うんですけれども、いかがですか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 議員がおっしゃるとおり、災害については、近年、東日本大震災を初め甚大な被害が各地で起こっております。南風原町としても他人事ではなくこれから防災、減災に取り組んでいるところでありまして、自主防災組織についても非常に重要であると認識しております。そのために我々町としても現在の自治会と連携して、今3自治会で自主防災組織ができていますが、今年度にあと4自治会結成に向けて取り組んでいるところでありまして、今後もできるだけ早く自治会と協力して、全自治会で自主防災組織が組織できるように取り組んでいるところでありまして。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 我が新川の自治会でも区長はマニュアルを手元には持っているんです、早い時期から。区長会で呼びかけがあったと、自主防災組織を立ち上げてくださいますと呼びかけがあったと。そこにはどなたがいらしたんですかね、班長ですか、どなたが。せめて部長か課長とか行って、もっと真剣に呼びかけるべきだと思うんです。我が新川の自治会長はマニュアルを手持っているんですけども、どのようにして進めようかと、何カ月も頭を悩ませているんです。そういう意味合いで今回はこの質問をしました。是非もっと積極的にアプローチして助けてほしいと思います。よろしくお願いします。

2番目に、新川公園トイレ前の交差点の件について。これも3年前、平成27年7月に私たち新川自治会とまちづくり委員会が一緒になって新川区内を踏査、歩いて調べて回って危険箇所がないか、どこが危ないかとかというのを踏査して、要請事項をまとめてこちらに伺って、当時副町長、総務部長、総務課長、まちづくり振興課長に対応していただいて、要請をしました中の1つです、この交差点の問題は。でももう解決していますね。もう一度伺いますけれども、整備されているというお答えですけれども、どのように整備されているんですか、もう少し詳しくお願いします。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 先ほど副町長から答弁があったとおりに、11日に現場を見ました。停止線、横断歩道、停止の標識を設置されていることを確認して、岡崎議員が提案のと通りの施設が整備されております。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 優先道路を変更したんですね。交通事故は1件だったという報告ですけれども、なぜ1件で済んだか。それは兼城から上がってくる車が、あの交差点でほとんど100%とまるからなんです。壁があって、住宅があって、右から来る車が見えないから、必ずとまるから事故が1件だけで済んでいたんです。3年前に要請したときに、公文書側からの車が止まらずに、速度も落とさないで走り抜けていく動画をお見せしたのを覚えておられるかどうか、あそこはとても危険なところでした。でもようやく解決できてよかったと思います。ありがとうございます。ただ、もう一つ、この件について申し上げると、あそこは新川区民、南風原町民だけじゃなくて、それ以南の皆さんの通勤車両が渋滞を避けてあそこを通り抜けるんです。あの交差点を過ぎて、んかっかを右に曲がって、43番地の中を抜けて、那覇市方面に抜けていく車がたくさんあります。それもかなりのスピードで走るものですから、あの一帯は現在もとても危険です。この交差点が解決したから向こうは安心だということではございません。あそこはあそこの件、今後も勉強していきたいと思っております。

それでは3番目に、北丘ハイツの上の斜面での老人施設建設計画と地すべり警戒区域指定の件。警戒区域とか防止区域とか、いろんな使い分けがあるようなんですけれども、私はあえて危険区域と申し上げたいと思います。この件は、3月の定例会でも花城清文前議員が取り上げておりましたけれども、これは2年前に、平成28年11月か12月にも老人施設建設計画を予定している事業主が新川の自治会にも、定例の自治会にやってきて約20分間説明会を開いていました。たしか25個の部屋をつくる計画だったと思います。L字型の擁壁をあそこにつくると、皆さんのお手元に、執行部で用意していただいた、ちょっと見えにくいと思いますが、左上が先日現場視察で見た北丘階段です。真ん中の川のような流れが

10月15日（第6号）一般質問

与那原バイパスの工事現場です。この間に波のような線があるところが、今私が取り上げている箇所です。ここで、先ほど申しましたように事業主が新川の自治会にも説明に来ていました。そのときに私たちはこの地すべりの心配があるこの斜面に、どうしてこのような計画ができるのか、立てられるのか、排水はどうするのか。あるいはもう既に亀裂が入っている、上の町道、21号線ですか、そこを工事する大型車両が往来することによってどんなことが起きるんだということを質問したり、指摘しました、あのとき。しかし、あのあと回答とか説明は一切、新川自治会に対してはございません。北丘ハイツの自治会では平成24年9月にこの事業者から計画の説明を受けた後に住民の皆さんがみずから藪の中に何度も入って、排水溝が潰れたり、ずれたり、あちこちで起きている。そういうことも確認しながら、この計画は絶対に断念してもらわないといけないという皆さん強い思いで、南部土木事務所、事業主、沖縄県議会、沖縄県住宅供給公社あるいは地主に陳情要請書を出してこられています。お答えでは、その計画は、今停滞とあります。1番目の地すべり防止法に基づく許可の申請に対して、南部土木事務所では今、協議が停滞しているということですか。停滞しているというのはどういう意味でしょうか。もう少し詳しく伺いたいと思います。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 お答えします。今、状況としましては、この申請にかかわるコンサルタントがかかわるというお話があったりして、状況としてはこの申請書は取り下げられているようです。開発をやめますということではなくて、携わるコンサルタントがかかわるので、そういうこともあって一旦取り下げているという状況です。そのほかには南部土木のほうから土質調査、解析の新たな宿題が出ているというところで、そういうので停滞していると、まだ調整中というところのようです。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 その宿題というのは、南部土木事務所から事業所に対して出ている宿題なんですか。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 そういうことです。構造的にまだこれでオーケーというところには至っていないということで、そういう宿題があるというところなんです。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 町のほうでは、この計画に対してどのような認識を持っておられるんでしょうか。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 町のほうとしましては、総合計画でもこの地域は緑地としての位置づけをされておりますので、こういう形での利用というのは余り好ましくないのかなというふうに考えております。ただ、市街化区域の中ではありますので、これができるというところではございません。南風原町のほうとしても地滑りの兆候があるのではないかとということで、平成30年1月22日に沖縄県知事宛てにこちらのほうに、今、地すべり防止区域に計画区域の一部が入っているぐらいですので、全体的にこれを指定してくれということでの要請をしております。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 北丘ハイツの住民の皆さんは、この建設計画があることについて、とても心配で心配で、そこだけじゃなくて、北丘小学校からおりていく階段、ハイツからおりていく階段近くの皆さんもそうですけれども、あるいはこの計画が予定されている右側の住民の皆さんもそうですけれども、夜も寝られないと、大雨が続くと、台風が来たりすると。これは絶対にこの建設は認めるべきじゃないんです、好ましくないというお言葉ですけれども、この計画は絶対に進めるべきではないと思います。今でもひび割れが生じて少しずつ滑っているんです。この町道21号線と北丘ハイツの間の斜面には、合計12世帯が暮らしているんです。そのうちの4世帯はこの施設建設計画のすぐ隣です。そういうところでどうしてこんな計画があり合えるのかと、ただ好ましくないだけでは済む問題じゃないんですよ。県に対してどのような要請、働きかけをしてきているんですか、この計画に対して。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 現在もこの斜面には住宅が何戸かございます。個人の所有地になりますので、そして市街化区域ですので、こういうふうに地すべり防止区域の指定が一部あるというところではありますけれども、法律ではこれの防止対策がしっかりできているというところであれば、これはもう許可されるというところのものです。南

10月15日（第6号）一般質問

風原町としては、当然、今地滑りの兆候があるので、今ある住宅の安全性を考えても防止区域に入れていただいて、防止対策をちゃんとしていただくというのが町としての立場かと思っております。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 これは今おっしゃったことは、次の2番目にも関連するんですけれども、地滑りについて。赤嶺町長は、都計課時代にこの斜面のことについてどういうことが行われたか記憶にありますか。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 北丘ハイツの背後地の斜面のことでよろしいですか。そうですね、向こうには当時、法人遺産という墓地の造成があるという計画、そういった時期でございまして、そこにそういう開発があると地滑り地域でございまして、非常に影響が大きいということで、県のほうにも、担当課長としていろいろと要請に行った覚えがござい

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 その要請というのは、そういう開発行為をしないでくれという要請ですか。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 お答えいたします。開発行為をしないでくれという要請ではございませんで、やはりそこには地滑り地域という規制がかかっておりますので、是非この規制を、地権者の皆さんには土地利用の権限がございまして、その土地利用の際は地滑り区域の規制をしっかりと遵守して、それなりに対策を講じた開発を指導してもらいたい。ご承知のように許認可権は県知事でございますので、我々、地元の市町村としてはそういった規制をしっかりとクリアできるような指導をしてもらいたいという要請でござい

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 ありがとうございます。この計画をしている事業主は、余り大手じゃないんです。もしもあそこでL字型の擁壁をつくって、工事をしている間に滑ったり、あるいはできた後に滑ったりして、この事業主が倒産したりしたら、あとは誰がここを、安全を担保してくれるんですか、保証してくれるんですか。北丘ハイツの皆さんはあの一帯を、次の質問とも関連しますが、あの斜面一帯は県の住宅供給公社が所有していて、管理しているという担保があって、安心感があって皆さんハイツを買い求めたんです。ところが誰も知らないうちに、一個人に売却された。今話したように、もし方が一工事中、あるいは工事の後、営業しているときとか何かがあったら、あそこは誰が保証してくれ

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 ありがとうございます。この計画をされている事業主は、余り大手じゃないんです。もしもあそこでL字型の擁壁をつくって、工事をしている間に滑ったり、あるいはできた後に滑ったりして、この事業主が倒産したりしたら、あとは誰がここを、安全を担保してくれるんですか、保証してくれるんですか。北丘ハイツの皆さんはあの一帯を、次の質問とも関連しますが、あの斜面一帯は県の住宅供給公社が所有していて、管理しているという担保があって、安心感があって皆さんハイツを買い求めたんです。ところが誰も知らないうちに、一個人に売却された。今話したように、もし方が一工事中、あるいは工事の後、営業しているときとか何かがあったら、あそこは誰が保証してくれ

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 県がやること、国がやることに直接答えられないということは、最初の新人議員の勉強会で教わりました。でもこういうことについて、町としてこれ以上かかわれないということがないように、私はこの件については、ずっと見守っていきたくて思っていますので、執行部におかれても、一旦認定したら、許可されたらもうとめようがないでしょう。そうですね。とめようがないですね。だから第1次の申請が許可されないように、是非働きかけを強めていただきたいと思います。お願いします。

地滑り危険区域について、皆さんの手元にある資料では、どこからどこまでが指定されていて、どこがまだなのか私ではまだよくわからないんですけれども。これを教えていただけませんか、この図面の見方を。

10月15日（第6号）一般質問

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 図面の真ん中のほうに赤い区域がございますけれども、この赤の区域と黄色、赤の周りに黄色がございますけれども、この区域が新しく区域に指定しようというところの場所でございます。左側の灰色っぽいところ、こちらまでは地滑り防止区域に入っているというところでございます。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 この左側のグレーのところは全部指定されているということですね。ありがとうございます。お伺いします。緑地区域にしたいという、この一帯の地権者は何名おられますか。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 緑地というふうに総合計画で描いているところは、まだ区域もはっきりしておりません。1万分の1の図面にあるという形であって。場所としましては、この区域からずっと相互団地近辺まで、議員が先ほど断層になっているとおっしゃっていたところ、この区域はほぼ緑地とされておりまして。済みません、権利者の件ですが、緑地全体としては把握してございませんけれども、今回の指定は23名の地権者がございます。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 供給公社が一個人に売却する前は、公社がハイツと斜面の境目のところを草刈り作業などをしてハブが寄れないようにしていたんですけれども、今はその掃除もされないの、住民の皆さんが自分たちでやっていると。地主の方にその清掃をするように働きかけているとは聞きましたけれども、なかなかやってもらえないというのが現状のようです。町は、この公社が売却したということは当時知らされていなかったか。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 公社が売却しますというお話があったかということではよろしいですか。こういうことは私の知る範囲では受けていないかと思えます。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 ハイツの皆さんは本当に心配なんです。是非今後とも関係先と工事計画が進まないように、鋭意努力していただきたいと思えます。

さっき自主防災組織のところで1つ漏らしましたが、質問通告はしていなかったんですが、ちむぐくる館には自家発電がありますか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 ございます。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 それでは4つ目のエアコンについて。エアコンについては、これまで先輩議員の皆さんがたくさん質問あるいは提起してこられてはいますが、国も来年度の予算では、来年の夏に間に合わないの、できれば来年の春休みに設置工事を進めたいということで補正予算に取り組むと私は聞いております。まだ設置されていないのが全国で17万とかありますけれども、私は20万の教室が設置されていないと聞いています。そうすると、国が予算をつける、この予算は国が3分の1、50万円までを補助し、残りを自治体が負担するというのはそのとおりですか。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 野原 学君 現在、ご質問の国の補助金の内容については、まだ細かい情報がございませんので、今現在は把握していないというところでございます。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 国の予算が3分の1ついて、あとは自治体ということになれば、先ほど教育長からもそのスケジュールについてご説明がありましたけれども、もしも来年の夏には間に合わせたいと、愛知県でこの夏に男の子が熱中症で死んでしまって、国も慌てていますけれども、もしも3月に春休みにやりたいとなった場合に、エアコンのメーカーの製造が間に合うかとか、エアコンの確保、あるいは工事業者の手配が間に合うかとか、そういう心配はしておられますか。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 この辺については、設計の段階で十分に計画していくんですけども、非常に現状として、その辺について厳しいのではないかと危惧しています。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 厳しいという意味は、先ほど教育長がおっしゃったスケジュールのとおりにはいかないんじゃないかという意味ですか。

10月15日（第6号）一般質問

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 クーラーを設置するに当たっては、実際、校舎の中の教室というのは生徒たちが使っているわけですから、その生徒たちが授業を進めながら工事をするということも非常に大変です。また一様に工事を進めたいということで、南風原町の中を考えてみると結構な規模が大きい学校ですので、その規模を同時に工事すること自体、早目早目でどんどん前倒しでやったときに、それだけの業者、それから機械とかを十分に吟味した上で集めることができるかということが、まだきちんと計画されていませんので、その辺を危惧しているということです。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 もう一度伺います。先ほど教育長が答えられたスケジュールどおりに行かないんじゃないかという心配をしておられるんですか。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育長 新垣吉紀君 私、先ほどの質問での答弁では、全ての条件が整って、財政的にも、事業所的にも、計画も、早めたいということをお願いしました。しかし、いろんな意味で計画どおりにしかいかないのではなかろうかという答弁をしたつもりでございます。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 現段階では、多分それ以上のお答えは無理だと思いますので、この質問はこれで終わりますけれども、先ほどお話ししたように、エアコンの確保とか工事業者の手配、配置とか、そういうものをおくれないような努力をさせていただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

私の質問を終えるに当たって、一言、ご挨拶を申し上げます。私がこのたびこの選挙に立候補を決意して、ありがたく当選を果たすまでにいろんな方から聞かれました。何を聞かれたかということ、あなたは、町長の側ですか、反対の側ですかと。町長とともに行動するのか、それともその逆なのか。多分10人以上に聞かれました。私はそのたびに答えたのは、私は中立で、町長が出してこられる施策一つ一つに対しておのおの判断して、そのように行動していきますと答えました。先日、照屋議員とか大城 毅議員にお声をかけていただいて情報交換、勉強をしましたが、それは今後も期待していますし、同時にほかの先輩議員の皆さん、あるいは同期の議員の皆さんと交流、勉強会をしていきたいし、そして頑張りたい。先週金曜日に私たちは沖縄県町村議会議員、そして事務局の研修会で糸満市に行きまして、4時間近く、中身の濃い勉強会を行いました。その中で講師の先生がおっしゃった言葉でとても印象に残っているのがあります。それは何かというと、議会と首長は互いに緊張関係にあるべきと、私は、それは適度な緊張関係と理解しています。町長がおっしゃる町民が主役のまちづくり、役場は最大のサービス産業という方針のもとで職員の皆さんはいい仕事をしていかれると思います。私も議会の一員として、このごろ中央官邸でやたらと丁寧という言葉が使われ過ぎている嫌いがありますが、私はできるだけ地域の声、町民の声を拾い上げて議会の一員として自分の務めを果たして行きたいと思っております。是非よろしくお願ひいたします。終わります。

○議長 知念富信君 暫時休憩します。

休憩（午前11時59分）

再開（午後0時58分）

○議長 知念富信君 再開します。

それでは、通告書のとおり順次発言を許します。6番 大城勇太議員。

〔大城勇太議員 登壇〕

○6番 大城勇太君 皆様こんにちは。先週ゼロ歳の三男の子供の保育所に認可申し込みに行ったら142名待ちと断られました、6番議員の大城勇太でございます。やはり待機児童問題はどの市町村も深刻な悩みとなっております。先日、議員説明会でもありましたように、働き世代、子育て世代が議員になることはなかなか厳しい状態だとお話しております。しかし今回、南風原町議会議員ではまさに働き世代、子育て世代の議員の方々が立ち上がってくれました。私もゼロ歳、1歳、そして小学2年生、4年生の子供を持つ子育て真っ最中であり、一人の議員として、そして南風原町の子育て世代の代表として、子育て世代だからわかること、子育て世代にしかわからないことをしっかりと声を大にして、これから訴えていきたいと思っておりますので、19期新人議員としてこれから一所懸命4年間頑張りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。それでは一般質問に入らせていただきます。

10月15日（第6号）一般質問

1番、津嘉山小学校の教室整備事業とサポートスタッフ配置事業を問う。（1）現在、津嘉山小学校6教室、職員室の増設を行っていますが、完成予定はいつか。（2）増設6教室のクーラーの整備状況、今後の他教室へのクーラー設置予定、南風原町内の小中学校への設置予定はどうなっているか。（3）平成30年度から実施している教員の負担を軽減し、生徒が集中して学力向上に取り組める体制づくりを補助する、補習等のための指導員等派遣事業（スクールサポートスタッフ配置事業）においても、本町も配置要員6人で事業費700円の予算が取られているが、現在の事業の進捗状況はどうか。

大きい2番、津嘉山区内の安全対策のため信号機の改善を。（1）津嘉山交差点（はま寿司の前の交差点）の右折信号の設置予定、申請等はあるか。（2）JAおきなわ津嘉山支店近く、県道128号線と町道8号線の交差点の信号機を歩車分離式にできないか。

大きい3番、待機児童対策について。（1）現在、待機児童解消のため保育園を新設・増設しているようであるが、時間やコスト面を視野に入れると認可外保育園を認可保育園にする方法も早期解決の一つであると考えておりますので、今後の予定も含めどう考えるか。

大きい4番、本町の安全対策について。（1）本部公園の利用者からの要望でありますけれども、夜になると街灯が暗く、夜のウォーキングに支障があるとのことでした。街灯の増設ができないか。また、黄金森公園のようにクッション性のあるウォーキングロードの設置ができないか。以上、答弁よろしくお願ひします。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 それでは質問項目1点目、（1）についてお答えいたします。津嘉山小学校校舎改築工事の完成は、ことし12月末を予定しており、検査完了後に供用開始の予定でございます。続きまして、（2）にお答えいたします。今回の校舎改築工事における増設教室6教室は、普通教室5教室、多目的教室が1教室となっており、普通教室にクーラーを設置いたします。また他の普通教室へのクーラー設置につきましては、小学校は今年度の実設計画、平成31年度に工事。中学校が平成31年度に設計、平成32年度に工事の予定となっております。続きまして、（3）でございます。平成30年7月から募集を開始し、10月9日現在、6校中2校、これは津嘉山小学校と翔南小学校にそれぞれ配置されております。以上です。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項2点目の津嘉山区内の安全対策のための信号機の設置を、（1）についてお答えします。与那原署を通じて公安委員会に確認したところ、津嘉山十字路の右折信号は年内に設置予定という報告を受けております。（2）についてお答えします。その件については、与那原署と今後協議をしてまいりたいと思ひます。

質問事項3点目の待機児童対策について。（1）にお答えします。待機児童の解消に向けては、町子ども・子育て支援事業計画に沿って進めております。その計画の中で認可外保育園から認可保育園への移行を希望する園につきましては、計画の中に入れて、これまで平成28年によなほ保育園、平成30年度にやまびこ保育園を認可化しております。さらに認可外保育園から小規模保育園へ移行した園として、めだか保育園、くわのみ保育園、太陽の丘保育園の3園があります。今後の予定については、希望する園が今のところありませんので、計画には入っておりません。

質問事項4点目の本町の安全対策についてお答えします。現場を確認したところ、植栽等で園路等が見えづらい箇所や照明が切れている箇所がありましたので、早急に対応をいたします。なお、街灯の増設については、必要照度を満たしていることから予定はありません。また舗装については、平成24年度に補助事業で施設整備を行っており、今後の再整備する際に設置を検討してまいります。以上です。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。1番から再質問させていただきます。現在、津嘉山区域内も区画整理振興地域等を見ていると、予定よりも何倍もの人口増になっているとお聞きしておりました。津嘉山区内でももうすぐ1万人になっております。これから小学校の生徒も含めてまだまだ増加していきたくらうと予想されてはいますが、ことしの1年生も6教室、来年度も5教室で、ふえる形になってきてはいますが、今後の児童数の推移が把握しているのであれば、お聞きしたいと思ひますのでお願ひします。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 野原 学君 津嘉山小学校の児童数に関してですが、今後はふえていく見込みであると想定しております。今、計画の段階では平成31年度は896人、32年度につ

10月15日（第6号）一般質問

いては919人を見込んでおります。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。今後もふえる場合、津嘉山小学校の増設も予定がありますか。よろしく願います。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 野原 学君 教室についてふえるかということだと、質問だと思うんですけども、教室については、今現在、増設した部分をもってしばらくはもつかと考えております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 今、PTAも含めて工事中にお子さんの出入り等も含めて、安全対策等もしっかり考えなければいけないと考えております。現在、周りの方々を含めて、津嘉山の人口増加傾向を見て、津嘉山第二小学校を建設してはどうかという声もありますけれども、町としての今後の考えをお聞かせください。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 今、ご質問の津嘉山地区の人口の増加については、これからも注視してどういうふう伸びていくのかということの研究していかないといけないと考えています。それに伴う過大規模校としての大規模化、その辺についてもこちらのほうで研究を進めていきたいと計画を、それから近隣の調査を進めている段階です。今、分離の話についても、どういうふうな状態になるかということを見きわめた上で総合的に判断していきたいと考えております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。教育長からもあったように、南風原町にあった、そして持続性のある物づくりが必要かと思っております。私から少し提案ですけれども、やはり小学校を分校した場合、今後の推移を考えますと、どちらかが減って、どちらかがふえるような形になってしまうと、持続性の合った物づくりにはならないのかなというふうに思っております。現在、私は7班に住んでいて、ラジオ体操で約300名が1カ所に集まるんですね。ここの7班という新興地域の中では人数的にはかなり多いのかなと思っておりますので、極端な増加ではなくて、分校という形ではなくて、付加価値のある小学校、例えば開邦中学校みたいな形でエスカレーター式に中学校まで、そして高校まで行けるような形で取り組んでいくのも面白いのかなと思っておりますので、是非ご検討のほどよろしく願います。

(2) 6教室のクーラー整備状況ですけれども、大城 毅議員、岡崎議員も含めて質問は重複してしまいますけれども、補助事業等もまだ決まっていないと、これも質問をしようかと思っていたんですけれども、設置等も含めて、先ほどもまだ決まっていないという、まだわからないという状況なので、1つだけ質問させてください。クーラーを設置した場合、今後の小学校、中学校の学力向上の見込みがあるのであれば、ひとつお聞かせ願います。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 直接的に学力向上を問うものではないと理解しているところですけれども、クーラー設置は昨今の地球温暖化、安全、安心も含めてクーラーを設置すると。ひいてはそのクーラーで快適性が向上することによって、学力も向上していくのではないかとこのように期待しているところでございます。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。先進地の秋田県が学力一番になったときに、視察しに行ったんですけれども、やはりあちらでも冷暖房、常にほとんどが完備している状況で、周りの地域の方々も含めて一緒に勉強に取り組んでいくという中で学力が一番になっていくのかなと考えているとあちらの方がおっしゃっていました。やはり南国沖縄ですから、もう少し早くクーラー設置などができていれば、私ももう少し学力は向上したのかなと思っております。

(3) に行かせていただきます。現在、津嘉山小学校でPTAをやっているんですが、PTAの配布の資料等を遅い時間まで作成していると、やはり先生方も10時とか11時まで残っている先生も見られます。教員の勤務実態等を見ていますと、先生方のこういった負担というのでも少しでも軽減できれば、生徒たちにもう少し多く目を向けてあげられるのではないかと思っております。南風原町のホームページにスクールサポートスタッフの任期などが書いてあったんですけれども、任期が9月30日とか書いてあったんですが、あれは任期が3カ月とかそういった形なのか、それとも募集期間が9月30日までなのかという

ことをお聞かせください。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 野原 学君 任期が9月30日というのは、一旦9月30日で、4月からの採用の方も、途中からの採用の方も9月30日で一旦切れて、また再度継続する方は継続するという形で、一旦任期が切れる期限でございます。年度いっぱい採用できるということでございます。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 インターネットを見て応募する方もいると思うので、2校しかまだ来ていないというのであれば、しっかり1年間単位で202号の議会だよりで全額国からの補助金でやると書かれていたので、1年間の任期という形であれば、もう少し人も集まると思っていますので、こういった先生方の負担を見ていますと、6学校にしっかりと配置していただきたいと思っています。これに関してですけれども、これはPTAからの要望で、これはPTAのほうも活用できるのかというのもひとつお聞かせください。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 基本的には学校の授業に、先生たちの負担を減らすためのスタッフですので、基本的な考え方はそのPTAが先生たちの事業として行われているものであれば使えると思います。ただ、あくまでもPTA作業をさせてもらうということではなくて、学校の先生たちのサポートであるという部分で判断していただきたいと思っています。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。学校教育の改善、そして空調整備も含めてサポートスタッフ等もしっかりしていけば、本町の小中学生も安心して勉強に取り組むと思っていますので、今後もよろしく願います。

大きい2番、これも質問が重複していますが、先日の好春議員の回答でもあったように、年内設置とありました。違う目線から見て、津嘉山十字路の県道128号線と合流する場所でもありますが、現在128号線との合流はまだできていない状況でありますけれども、合流予定などの時期がわかるのであればお聞かせください。

○議長 知念富信君 経済建設部長。

○経済建設部長 神里操也君 今、お聞きしているのは交差点で5差路になっているのを、そのまま開通するかという話だと思いますが、区画整理区域内で128号線は宅地となりますので、今5車線あるのは閉ざされて4車線になります。だから128号線は、今後もあける予定ではございません。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 開通しないということですのでよろしいですね。ありがとうございます。今後、津嘉山北区画整備事業にも入っているかと思いますが、はま寿司、ビック、リュウトウの物流センターも含めると、今後も十分に人口がふえるかと思っております。公園等の整備も計画の中に入っていると思いますので、是非ご検討のほどをよろしくお願い致します。

(2) JAおきなわ津嘉山支店近く、県道128号線と町道8号線の交差点、歩車分離式にできないかということですが、こちらは津嘉山交差点で、PTAでもとても事故が多い場所として、夏休み前とか安全マップ作成の際にも問題視されている場所として、とても事故が多い場所、私も1回車を追突されたということがありまして、是非この交差点、歩車分離式にしたいと思っています。朝、小学生の通学の際に、必ずしも誰か、子供たちを誘導する係がついているんですけども、やはり鋭角になっている交差点がありますので、津嘉山十字路から来た車が右折する際に信号が赤になるまで待っている状況のときに、南星中学校に、その後ろの車が直進するときには、もう既に前方の歩行者信号は青になっていて、走ってくる子供たちも多いので、結構危ない光景を見てきました。PTAでも最も安全を優先すべき場所かと考えていますけれども、歩車分離式にする条件等があれば教えていただければと思いますので、よろしく願います。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 特に歩車分離の条件等は与那原署から聞いておりません。ただ、いろいろメリット、デメリットがありまして、この中でメリットとしては、歩行者を気にせず自動車が右左折できるため渋滞が解消される。またデメリットとして、歩行者信号だけが青となる時間があるため、車両の待ち時間が増加し、渋滞が発生するということがありまして、その場所場所に合った道路の体系、交差点の体系で変わってくるのかと思いますので、この辺も含めて与那原署と協議を重ねていきたいと考えております。

10月15日（第6号）一般質問

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 小学生や小さい子供が通りますので、デメリット、メリットというよりも、やっぱり安全を最優先にしたほうがいいのかと思いますので、今後とも検討のほどよろしくをお願いします。

3番、待機児童対策についてですが、本当に今、ゼロ歳、1歳の子供がいて、1歳の子供は250名待ちで現在は認可保育園に入れていただきました、ありがとうございます。ゼロ歳の子供はまだまだ入れない状況が続いております。今回、認可保育園も入れなかったんですけども、認可外保育園のほうでも定員割れしているということもお聞きしましたので、それを質問しようかと思ったんですけども、実は、私、開邦保育園がひなぎく幼稚園のときの1期卒園生でして、実は開邦幼稚園はこういう状況だよと相談がありましたけれども、平成31年4月には認可保育園になるという回答をいただきましたので、しかし、現状ではまだまだ待機児童対策は解決できていないのが現状で、どの保育園も保育士が足りないということがいろんな保育園を聞いてもそういう回答をいただいております。やはり近隣の豊見城市では引っ越し準備支度金とか家賃保証など、そういったものを支援しているようですが、本町の今後の予定がありましたら、そういった処遇改善等の支援、補助がありましたらお聞かせください。お願いします。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 答えします。議員おっしゃいますように、本町は待機児童が多くて、我々の喫緊の課題であります。なかなか解決できない状況であることを、我々も大変心苦しく思いますが、しっかり今の取り組みを進めて、まず定員増は早急に強化して、充実させて取り組んでいきたいと思っております。あわせて保育士不足がさらに待機児童の解消にならないという部分で、保育士不足が取り上げられておりますが、議員おっしゃいますように、近隣の市あたりでは、そういった潜在的保育士が新たにこの職につく場合とか、そういった幾つかのインセンティブを設けて、就職につなげるような取り組みをしております。本町では、これまでも答弁してまいりましたが、本町は県内では唯一認可保育園の職員の給与補助という形でずっと補助、助成を続けております。ただ、その取り組みに変わるものとして、新たな保育士、要するに潜在的保育士が就職しやすいような、別の何かしらそういったインセンティブを設けるような取り組みはしっかり調査研究しているところでございますので、待機児童解消に向けては定員増、施設整備とあわせて、この保育士確保の対策に取り組んでまいりたいと思っております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。先日の琉球新報でもありましたように、保育士確保が急務という形で新聞にも載っていきまして、豊見城市では家賃保証として、6万円を上限として3年間保証するという形で、市外から市内に採用した場合、そういったものも取り組んでいけば南風原町は3,000円のものですか、それに比べると結構な額になっていくと思いますので、そういった面でもさまざまな視点から取り組んでいけたらと思いますので、是非ご検討のほどよろしくをお願いします。また、この待機児童の件ですけれども、うるま市の中学校の空きスペースを利用して、小規模保育園が開所したとありましたけれども、南風原町内の幼稚園、そして小学校等の空き状況があれば、そういったものも活用できるのかと思っておりますけれども、現在の小中学校の空き教室の状況がわかるのであれば教えていただけますでしょうか、よろしくをお願いします。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 野原 学君 現在、小学校、中学校、幼稚園を含めて空き教室はございません。全部活用されております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。やっぱり中学校につくる際にもさまざまなメリット、デメリット等もあるかとは思いますが、しっかりした子ども園的なものを空き状況があればこども園とかそういったものに活用していただければ、園児との触れ合い、職場体験なども一緒にできれば、このスペース等があいた場合にはそういったものも取り組んでいけたらと思っております。あと認可でお話があったんですが、認可保育園の夜間保育園というのは南風原町内ではあるのかどうかお聞かせ願えますか。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 町内の認可園での夜間保育はございません。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 南風原町、津嘉山も含めてですけれども、片親世帯がとても多いと聞いています。貧困対策も含めて、働かなければいけないときに夜間、子供が一人で家で

10月15日（第6号）一般質問

待って、親は仕事しているということもたびたび耳にすることでもありますので、この夜間保育園も是非検討していく問題なのかとも思っています。今後またこういった内容等がありましたらご質問させていただきますので、是非よろしくお願ひします。

今回の一般質問を通して、とてもいろんなことを学ばせていただきました。このゼロ歳の待機児童から高齢者の健康維持など、民生部長がおっしゃったように在宅での支援サポートという形で健康維持など、回答がありましたけれども、これをどうにか、在宅での支援をサポートするということのを待機児童対策に生かせないかと考えていますけれども、実際、待機児童というのは申し込みをして入れないから待機児童になるわけで、実際に申し込みをさせなければ待機児童にはならないと思っております。ゼロ歳児、1歳児にかかる助成金を実際に母親に助成してあげれば、働かなくて済むので保育園に行かせなくてもいい。それは安全、安心面も含めて、愛情もサポートできるのかと思っておりますけれども、こういった在宅での支援をサポートするということ自体、待機児童対策として何かしらの支援につなげていくことはできないでしょうか、よろしくお願ひします。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 答えします。子ども子育て支援という部分では保育を必要とするしないとか関係なく、議員がおっしゃいますように、我々も全ての子育て世代にしつかりとした支援が行き届くような取り組みをして、本当にこの南風原町が子育てがしやすいまちにしていきたいということは我々、子ども・子育て支援事業計画や、あるいはちむぐくるプランという、福祉の総合計画、地域福祉推進計画というのがございますが、そういった部分でしっかり支援してこうという取り組みをしております。家庭保育をなさっているお母さん方もそれぞれ保育をする上で悩み等もございますし、そういった部分にも寄り添った対応ができるように、しっかり取り組みを進めてまいります。ただ、現時点では、まずは待機児童の解消に向けて施設整備等を最優先に、この待機児童の解消をしっかり取り組みながら、一方では待機児童となっていないお子さん、そういった家庭保育をなさっている方々の支援もしっかりと取り組んでいくということでございます。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。ゼロ歳児、1歳児という、母親がしっかり見て育てていかなければいけないという状況がありますので、こういった面でも、そういった支援等がありましたらまた質問させていただきますのでよろしくお願ひします。

4番、本町の安全対策についてですが、今回、本部公園でのウォーキングロードの設置は平成24年度で終わっているということではできませんでしたが、このクッション性のあるウォーキングロードですけれども、奥武山公園に、そして黄金森公園の担当にそれぞれ問い合わせしてみました。奥武山公園は黄金森公園の2倍ぐらいのクッション性の役割はあるとお聞きしました。そちらに出向いて確かめてみると、本当に足腰にも、お年寄りが歩いてもけががないと言ったらおかしいですけれども、負担がかからないようなクッション性があるかと思っております。これを現在工事を行っている津嘉山公園のほうでもできないか質問をさせていただきます。よろしくお願ひします。

○議長 知念富信君 都市整備課長。

○都市整備課長 稲福 正君 津嘉山公園では、園路部分のほうをクッション性の舗装を予定しております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ウォーキングロードはないということですか。やるということ…。これは奥武山公園のようなクッション性のあるものができるのかどうかというのも含めてお願ひします。

○議長 知念富信君 都市整備課長。

○都市整備課長 稲福 正君 今、資料を持っていませんので、平成32年ほどに津嘉山公園を予定していますので、その時分に再度また検討しながら、奥武山公園のクッション性ですか、対応できるように検討していきたいと思ひます。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。この4番ですけれども、本部公園、実際、子供を連れて本部公園と黄金森公園を散歩してみました。本部公園ではグラウンドのトイレあたりからバックネットまでに街灯が1つしかなくて、とても暗い状況でありました。その間にハブ注意という看板もあったので、実際にS字になった木が落ちていましたので、これをウォーキングロードにそっと置いて子供に歩かせてみたら、ハブだと言って逃げ回るぐらい、それぐらい暗いという状況を把握していただいて、今後も検討のほどをよろしくお願ひします。これで一般質問を終わります。ありがとうございます。初めて

10月15日（第6号）一般質問

の一般質問で…。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 野原 学君 大変申しわけありません。津嘉山小学校整備の再質問で、津嘉山小学校の児童数の推計ということがあったんですが、訂正をお願いいたします。平成31年度が907人、平成32年度が961人に訂正をお願いいたします。申しわけございませんでした。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 約60名近い生徒がふえるということで、教室もふえるのかと思っておりますけれども、その際にはご検討のほどよろしくお願ひします。これで初めての一般質問を、不なれの部分もありましたけれども、これからもっと勉強して、町民の声をしっかり町政に届けられるような役割づくりをしたいと思っております。本当に先輩議員も含めて、先輩方が築いた思いを胸に、これから新しくなられた5人の議員とともに、これからもずっと、今よりももっと南風原町をよくしていきますので、これから4年間どうぞよろしくお願ひします。これで一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午後1時35分）

再開（午後1時36分）

○議長 知念富信君 再開します。

通告書のとおり順次発言を許します。4番 石垣大志議員。

〔石垣大志議員 登壇〕

○4番 石垣大志君 皆さん大変お疲れさまでございます。最後のラストバッター石垣大志と申します。よろしくお願ひいたします。今回、初当選させていただきまして、さきの統一地方選挙から県知事選挙、そして台風24号、25号の対応を本当にお疲れさまでございます。今後とも一所懸命、謙虚に、誠実におごることなく、これからの議員活動に邁進してまいりたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。それでは一般質問に入らせていただきます。

大きい1番、宮平交差点の信号機に右折矢印の設置を。（1）宮平交差点は右折をする車両が赤信号でしか進めない状態が、今現在続いております。町としては、警察署へ右折矢印追加の要請を行っているとお願ひしております。整備の予定はいつごろか。（2）右折矢印の設置まで看板や注意喚起の表示等、事故防止の対応を検討してはどうか。

大きい2番、保育所の公共施設利用について問ひます。（1）町内の保育施設は運動会や発表会の際に公共施設を利用していると聞ひしております。一般の利用者やほかの地域との予約が重なり場所の確保が大変との声があります。優先的に予約をとることはできないか。（2）学校体育施設利用説明書内にある使用団体の優先順位をPTA、スポーツ少年団、町体協、町内自治会と同等とすることは可能か問ひます。よろしくお願ひします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目の宮平交差点の信号機に右折矢印の設置を。その件について、（1）と（2）は関連いたしますので一括してお答えしたいと思います。与那原署を通じて公安委員会に確認したところ、宮平当間原交差点の右折信号は年内には設置をする予定という報告を受けておりますので、その間の事故防止対策については検討してまいりたいと思ひます。以上です。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項2番目、保育所の公共施設利用の関係の（1）についてお答えいたします。町内の保育所が運動会等で学校体育施設や公園を利用する場合は、他団体よりも一月前から予約する優位性は確保している状況でございます。続きまして、（2）です。町内の保育所が事業などのために、学校体育施設を予約する際には、社会教育団体などと同様に優先的に利用していただけるような処置を講じております。また特別な理由により希望日の予約が重なった場合は、スポーツ少年団とかほかの利用団体と相談して、譲り合ひいただくような調整も行っております。以上でございます。

○議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 まず、宮平交差点の信号機ですが、設置の具体的な時期はお聞かせ願ひできますか、お願ひします。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 年内にということ報告を受けてお願ひして、遅くとも12月末

10月15日（第6号）一般質問

までには設置できるものと理解しております。

○議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 12月とはまたちょっと微妙な時期だと思うんですけれども、結構、多分事故も見かけたことでもありますので、喫緊な課題であるとは思いますが、時期的にも12月ということではいろいろ対応も考えないといけないと思うんですが、12月であれば注意喚起の掲示板とかいろいろあると思うんですけれども、目的としては、やっぱり事故を防止しないといけないと思いますので、多分皆さん通られていると思うんですけれども、右折できなくてそのままとまってしまうとかあると思うので、その辺も検討しながら前向きに考えていただいて、できれば事故がないように努力していただければと思います。皆さん宮平交差点について一般質問されていましたので、次に行きます。

これは結果的に、学校体育施設開放の優先順位が明記されていないんですが、そもそもこれは明記することは可能ですか。その辺もお聞かせ願えればと思います。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 書いていないというのは…、保育所がということ…。

○4番 石垣大志君 優先していますかという問いに対して、1カ月前から予約することができると答えていますよね…。

○教育部長 金城郡浩君 基本的に、学校開放の場合の考え方ですけれども、一般利用団体と社会学習とかで使われている公共の団体がありまして、公共の団体の一部に準ずるような形で、社会的な、まず趣旨を、済みません、話があればなんですけれども。使用条件の中でこういうふうになっていきます。学校施設を社会教育、その他公共のために一時使用させることができると書いていますので、我々の考え方としては、社会教育団体、それから公共のための団体というのは1つのくくりとして考えていまして、具体的に全てをどれどれと書いているものではなくて、そういう団体の中に含めて考えているということになります。

○議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 そもそもこの質問の経緯といいますか、保育所の方々にいろいろお話を聞く機会がありまして、そのときに行政の皆さんにやっていたこと、多分皆さん理解していると思うんですね、待機児童の問題だったりとか保育所の確保の問題、いろいろ行政の方は努力されているということも理解した上で、この保育所の方々も今までのこと、やってほしいことという面で、学校行事の際の体育施設の利用の話が出てきましたので質問をさせていただいているんですが、いろいろ聞いていくと、校区外の予約を禁止されていると勘違いしている方々もおられました。これも詳しく聞くと、そもそも禁止はされていないんだけど、駐車場の問題やいろいろな問題があって、校区外を避けるように保育所の方々もされているとお伺いしました。暗黙の了解といいますか、どうせ難儀するから校区外はやめておいたほうが良いという、保育所の中での暗黙の了解というのがあるそうで、総合的にいろいろ、保育所の方々もいろいろなストレスを抱えてやっていますので、その辺の負担軽減の意味も込めて、是非とも学校体育施設開放の優先順位の部分を明記するだけでも、少しは保育所の方々の理解も得られるのではないかと思います。この質問をさせていただいております。その点に関してはどう考えておられますか、お聞かせ願えますか。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 わかりやすく、理解しやすいようにということで、そちらのほうは少し表現を検討させていただきたいと思います。

○議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 あと津嘉山小学校ですか、今、運動場が駐車場として使えないとお伺いしているんですが、これもお聞かせ願えたらと思っています。お願いします。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 基本的に運動場を駐車場として使うということは、教育委員会とか社会スポーツの中から許可しているものではないです。基本的に運動場は運動場として使っていただくということがこちらの方針でして、学校長の判断でどうしても運動場を駐車場として使わざるを得ないという判断のもとで使用を許可しているものだというふうにこちらのほうは理解しております。

○議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 それはわかっているんですが、行事の際等、使えなくなっていると聞いたんですけれども、その辺は。お聞かせ願えませんか。

○議長 知念富信君 教育部長。

10月15日（第6号）一般質問

○教育部長 金城郡浩君 公共で、祭りでもどうしても駐車場が必要ということで運動場を使わせていただくことがあるんですけども、その件も学校長と相談をして、許可をいただいて、運動場を車等の重たいものを走らせた場合、轍とかができて子供たちがけがをすると危ないので、それを再整備するという形でかえさせていただいております。そういうことが学校長の判断で、できるということの判断があるのであれば、運動場を貸し出しているのではないかというふうにこちらのほうでは理解しております。

○議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。総合的に、この体育施設開放についても保育園の負担軽減という意味で質問させていただいておりますので、是非とも行政の皆さんにも、今後とも保育園に負担の軽減の策を講じるようよろしくお願い申し上げます。ちよつと早いですけれども、私の一般質問とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長 知念富信君 以上で一般質問は全部終了しました。本日は、これにて散会します。お疲れさまでした。

散会（午後1時48分）